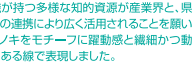




宇都宮大学内「大学コンソーシアムとちぎ」事務局
〒321-8505 宇都宮市峰町350
TEL:028-649-5666 FAX:028-649-5026
<http://www.consortium-tochigi.ac.jp/>



コンソーシアムってどんな意味ですか？

ひとことで言うところを合わせ一緒に物事を進める
「協同体」という意味です。

それぞれの大学が自分たちの得意分野を持ち寄り、魅力ある
 大学や地域づくりを目指すという取り組みです。

Answer

人々の考えや行動がどんどん変化していくように、教育・研究という立場にある大学が共に結びつきを強め、大きな一つの総合大学と仮想して**時代の変革の歩先**を進もうという試みです。少子高齢化など大学を取り巻く環境が著しく変化していますが、それに伴い、大学（高等教育機関）の役割も見直す必要があります。本コンソーシアムは少子化で受験者数が減少する中で魅力のある大学にするとか、知的資源を有効活用して地域に貢献するとか、**個々でやるよりは協同して総合的に行う方が効果があがるような取組み**を行っていきます。また、このことを通じて地域の知的基盤の充実にもつなげていきたいと考えています。

大学にするとか、知的資源を有効活用して地域に貢献するとか、**個々でやるよりは協同して総合的に行う方が効果があがるような取組み**を行っています。また、このことを通じて地域の知的基盤の充実にもつなげていきたいと考えています。



Answer

大学生には、例えば自分の専攻以外に学びたいことをコンソーシアムに参加する**他大学の講座で学べるようになります。**単位の取得にもなります。高校生にとっては高校生向け講座の開設などがあります。

Answer

様々な事業体で開催されてきた生涯学習講座も地方公共団体との連携で系統立てられ、中身も充実されます。一方、社会人を対象としたリカレント講座を通じて、**大学の先生からいろいろな講義を聞くことが出来ます。**

様々な事業体で開催されてきた生涯学習講座も地方公共団体との連携で系統立てられ、中身も充実されます。一方、社会人を対象としたリカレント講座を通じて、**大学の先生からいろいろな講義を聞くことが出来ます。**



Answer

とちぎの歴史や文化、自然などをとらえた「とちぎ学」を設け、**市町村のまちづくりの企画などのお手伝いを行います。**場合により、複数の大学の教職員と学生が関係市町村と一体となって支援していきます。

大学間連携事業

「大学間連携事業」は大きく「とちぎ（ーチャルユニバーシティ（仮想大学）事業）」、「市民カレッジ事業」、「高大連携事業」、「国際交流推進事業」に分かれ、メニューは「とちぎーチャルユニバーシティ（事業）」で、希望する学生が他の大学の既修科目やコンフォースメントに申請する科目の単位取得が履修を可能とする単位互換制度、遠隔講座やゼミナール教室の活用などと考えております。また、学生たちの評価の高いゼミナールを他の大学でも開設する連携ゼミナール事業も実施しています。

「市民カレッジ事業」では、社会を対象に大学院院課程の内容を盛り込んだリカレント講座や地方公共団体との連携による県民カレッジを発展させる生涯学習講座などがあります。

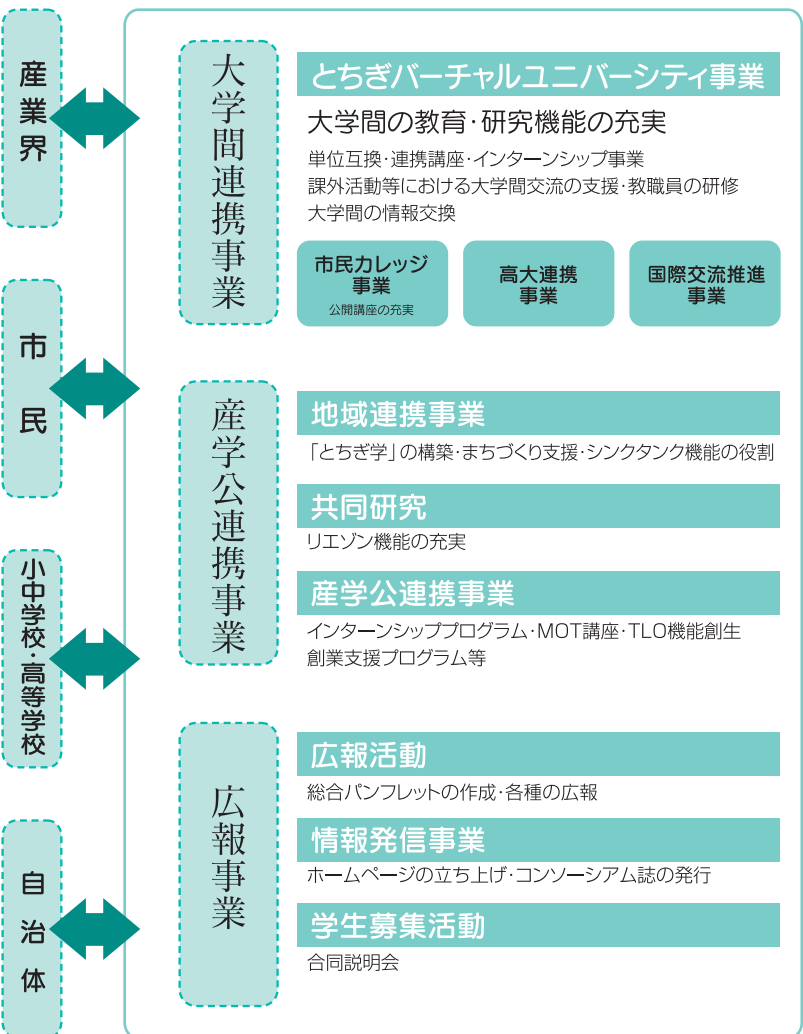
「高大連携事業」では、特に技術系大学から生化学や高校に学生・教職員を派遣して教育活動を支援します。また教員が学生から高校生のための講座も実施する予定です。

産学公連携事業

「産学連携事業の実践」（共同研究・産学連携）、「地域連携」の3事業に分け、「地域連携」で第一に挙げられているのが「とちぎ学」の講座開設です。栃木県の歴史や文化、自然、産業、教育など多岐な視点で「とちぎ」を見つめ直し再認識する機会づくりを指しています。「教える側も学ぶ側も一体となって、全員参加型の講座が理想です」と理事長は構想を披露しています。まづ初年度支援事業では教職員と学生が関係市町村と一体となってまづ初年度活動を支援していきます。また「たにらじ（結びつ）機能あふりに活用して大学の『知』を社会に研究を展開する事業やMOT（技術振興）講座が（共同研究連携）の中に組み込まれております。（産学連携）では創業支援や産学連携」と創業者や新規事業の展開などに一歩リアルパスを実施する計画があります。産業界との連携を強化して従来のインターンシップ制度をコンソーシアムを通じて拡充するプログラムも注目される事業の一つです。

広報事業

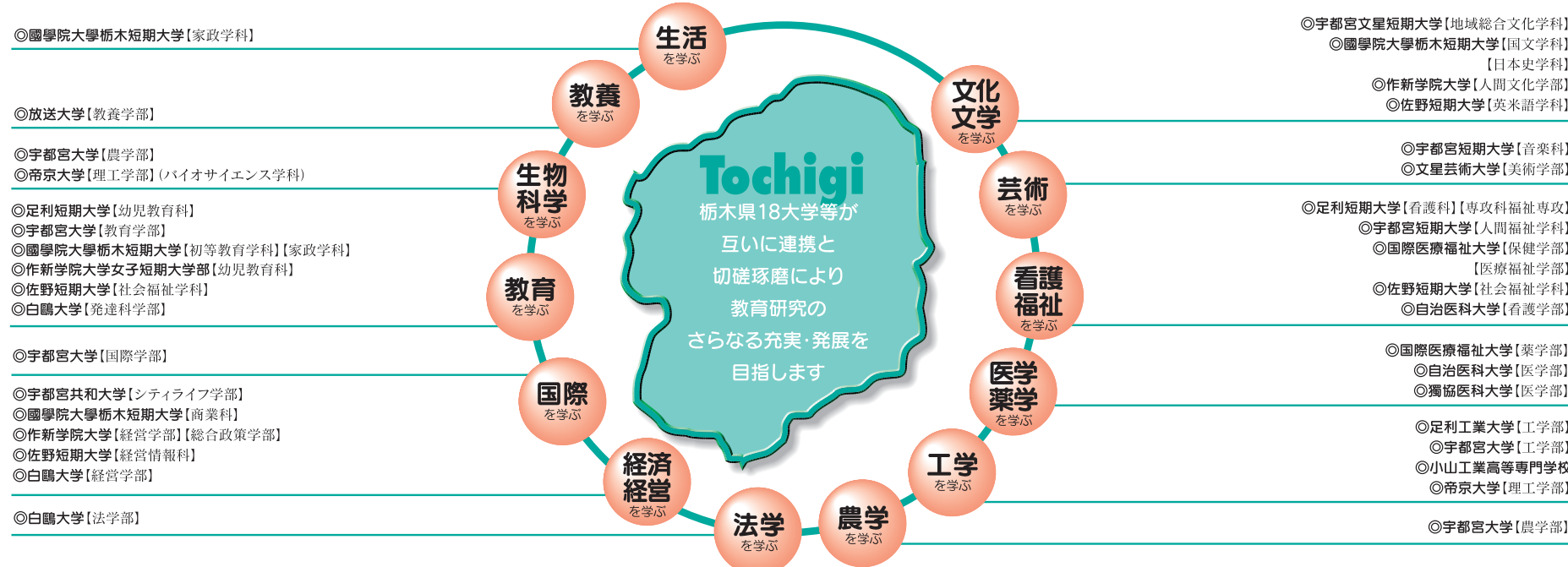
「広報事業」では、県下の特長ある大学の魅力を広く理解してもらうため、パンフレットの発行やリーフレットの作成などの《共通広報》とホームページの立ち上げなど《情報発信》の他、学生募集のため、他県での合同説明会なども検討しております。



栃木の大学が
おもしろい



Tochigi



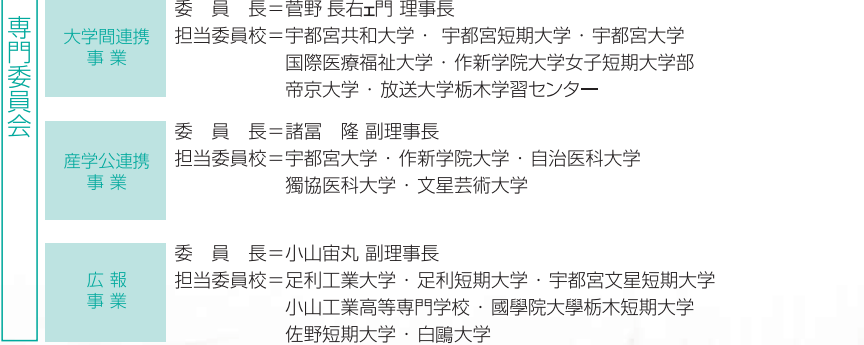
栃木県には18の高等教育機関が立地しており、それぞれが特色を発揮し、教育・研究はもとより、多方面にわたり地域社会や産業界との連携に取り組んでいます。またそこには、2万5千を超える学生が学び、多くの学生が社会活動に参加しています。しかし、こうした実体は、必ずしも県民に周知されているとはいえません。

近年、産業構造の変化や情報化・国際化の進展する一方、急速に進む少子化や高齢化など、社会状況は大きく変化しています。このような状況にあつて、地域における知識と文化の拠点としての高等教育の役割に大きな期待が寄せられているところであります。

栃木県下の特徴ある大学が連携することで強力な総合大学としての機能を果たせると共に、大学等が持っている知的資源等と地域社会や産業界の多様な力とを連携することで、新たな地域力を掘り起こし、自然豊かな栃木県に新たな魅力と活気をもたらすことは、翻って、大学の魅力や活性化にもつながっていくものと期待されます。

私たち高等教育機関は相互の連携・交流を強化し、各大学等の教育・研究を充実・発展させると共に、広く地域社会や産業界の活性化に貢献するため、「大学コンソーシアムとちぎ」を設立し、魅力ある栃木県づくりを目指します。

役員構成	理事長	菅野 長石門(宇都宮大学学長)
	副理事長	小山田丸(白鷺大学学長) 谷 修一(国際医療福祉大学学長) 諸富 隆(作新学院大学学長)
	理事	市川秀夫(栃木県経済同友会筆頭代表幹事)・上野憲示(文星芸術大学学長) 上野孝子(宇都宮文星短期大学学長)・岡野弘彦(國學院大學栃木短期大学学長) 冲永史夫(帝京大学学長)・清水敦彦(足利短期大学学長) 須賀英之(宇都宮共和大学学長)・高久史麿(自治医科大学学長) 田原康博(前宇都宮大学学長)・寺野 彰(彥根医科大学学長) 川口晋吉(放送大学栃木学習センター所長)・藤本光宏(小山工業高等専門学校校長) 合島一雄(在野短期大学学長)・吉田忠雄(足利工業大学学長)
	理事・事務局長	吉田和文(宇都宮大学副学長)
	監事	齊藤朴旦(宇都宮大学監事)・藤井 清(船田教育会監事) <五十音順、敬称略>



足利工業大学・足利短期大学・宇都宮宮和大学・宇都宮短期大学・宇都宮大学・宇都宮文星短期大学
小山工業高等専門学校・國學院大學栃木短期大学・國際医療福祉大学・作新学院大学
作新学院大学女子短期大学部・佐野短期大学・自治医科大学・東京大学・獨協医科大学
白鷗大学・文星芸術大学・放送大学栃木学習センター

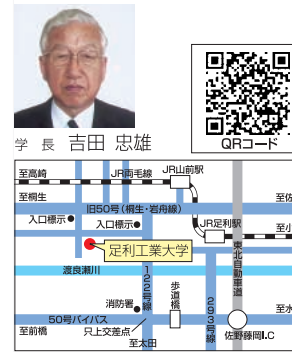


大学コンソーシアムとちぎ 栃木の大学がおもしろい

栃県18大学等が互いに連携と切磋琢磨により、教育研究のさらなる充実・発展を目指します

足利工業大学
〒326-8558 足利市大町268-1
TEL.0284(62)0605
<http://www.ashitech.ac.jp>

きめの細かい教育によって
学生全員に付加価値をつける

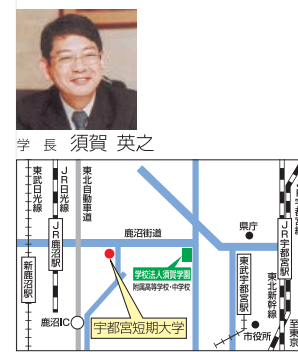


足利工業大学は、きめの細かい教育によって、入学してきた全ての学生に付加価値をつけて卒業させ、社会で活躍してもらうことを目標としています。この目標を達成するために、入学直後から学生諸君の履修歴に応じた教育を展開しています。またIT時代に対応して、1年生および2年生全員にノートパソコンを無料貸与し、それを有効に活用できる教育をしています。学生諸君全員が大学院に進学、もしくは就職できる教職員一丸となって努力し、その結果高い就職率を達成しています。学生生活を楽しむことを願っています。足利工業大学は特色ある活動を展開しています。風車博士、睡眠博士や花火博士は特色ある教授です。

宇都宮短期大学

〒321-0348 宇都宮市下宮針町彦坂3829
TEL.028(648)2331(音楽科)
TEL.028(649)0511(人間福祉学科)

<http://www.ujc.ac.jp/>
全人教育で、時代のニーズに応える
感性豊かな人材を育成



宇都宮短期大学音楽科は、世界的な演奏家をはじめ、地域音楽文化の向上に寄与する多くの教員や指導者を輩出しています。また、時代の要請に応じて電子オルガン専攻や音楽療法士の資格が取得できる音楽療法士専攻など、新しいジャンルにも積極的に取り組み、すべての音楽領域をカバーする13の専攻コースがあります。人間福祉学科は、少子高齢社会という社会背景から、社会福祉、幼児福祉、介護福祉の3専攻を設置。高度な知識と技術を習得した人材を世に送り出しています。また、単に資格取得を目的とするだけでなく、伝統ある全人教育の理念の下で、人間性豊かな心を持った福祉専門職を目指し、地域福祉の充実に貢献しています。

小山高専

〒323-0806 小山市大字中久喜771
TEL.0285(20)2100
<http://www.oyama-ct.ac.jp>

エジソン型テクノロジストの
育成を目指して

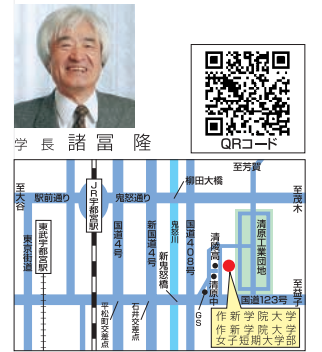


小山工業高等専門学校は、豊かな教養と専門の工学とを身につけた技術者の育成を使命としています。本校は5年制の学科課程(高校+大学1・2年相当)と、2年制の専攻科課程(大学3・4年相当)で構成される高等教育機関です。学科課程では大学工学部と同程度の内容を修め、卒業後は就職や専攻科進学、大学編入の道が開かれています。専攻科修了後は就職や大学院への編入の道が開かれています。また、小山高専は、高校卒業者の本校4年次への編入の道を開いています。なお、小山高専は、平成17年度に日本技術者教育認定機構(JABE)の審査を受けました。

作新学院大学

〒321-3295 宇都宮市竹下町908番地
TEL.028(667)7111
<http://www.sakushin-u.ac.jp/>

地域に根ざし、
学問力と実践力を育む

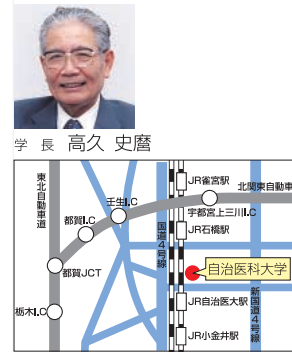


作新学院大学は「学問を教えるだけでなく、実践を教える」ことを教育目標とし、実践教育のための個性的なカリキュラムを用意しています。経営学部では、企業からの寄附講座を設け、インターンシップの充実を図り、総合政策学部では、高齢過疎山村を対象とする「地域活性化」のワークショップ型教育プログラムを、人間文化学部では、地域の方々や学生・教員が連携して地域の諸課題を解決する過程で、学生の実践的課題解決能力を育てていく大学・地域連携教育プログラム(キャブストーン・コース)を必修科目としています。本学は、学生に対する「面倒見のよい大学」を目指し、明るく自由な雰囲気の中で教育や研究を展開しています。その結果は、学生諸君の学習面での著しい発達と、高い就職率(98%・平成16年度実績)として現れています。

自治医科大学

〒329-0498 下野市駅前3311-1
TEL.0285(58)7045(医学部)
TEL.0285(58)7447(看護学部)
<http://www.jichi.ac.jp/>

地域医療。私たちが担います。



自治医科大学は、医歯に恵まれにくい地域における医療の確保、向上を図るため、全国の都道府県が共同して設立した大学です。医学部と看護学部を設置し、地域において総合的な保健医療福祉活動に従事できる医師・看護師の養成を目的としています。入学定員は各学部100名です。医学部の入学生は、全国47都道府県からそれぞれ2〜3名ずつ選抜され、卒業後は出身都道府県の知事の指示に基づき地域医療に従事します。看護学部入学生は、関東近県出身者が全体の9割を占めます。平成18年3月に第1期生が卒業しますが、多くが自治医科大学附属病院及び附属大田医療センターに勤務します。自治医科大学で医療・看護を学んで全国に友人の輪を広げてみませんか。

白鷺大学

■キャンパス 〒323-8585 小山市大町1117
TEL.0285(22)1111
■東キャンパス 〒323-8586 小山市駒形2-2-2
TEL.0285(22)1800
<http://hakuoh.jp/>

白鷺独自の教育力と就職力で
とちぎからPLUS ULTRA(さらにこうへ)

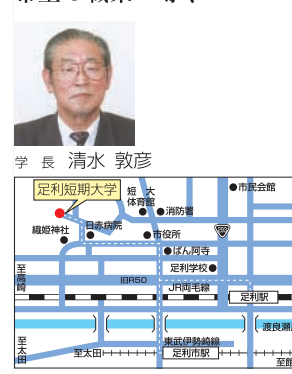


白鷺大学の「教育力」には二つの顔があります。一つは「学生を教育する力」です。4年間ですべて学生の能力を伸ばす。そのために授業をどう工夫するか。研究室にこもりきりの教授は一人もいません。研究とともに教育にも最大限の力を注ぐ大学です。もう一つの教育力は「力のある教員を養成する」ことです。小学校教諭や中・高校体育教員免許が取得できる発達科学部の学生はもろろん経営学部や法学部の学生を含めても全学生の約4分の1にあたる1000人余りの学生が教職課程を受講しています。また学生の最大関心事である「就職」には経験豊富なスタッフと最新の情報システムを導入、学生にマッチした就職サポートが自慢です。

足利短期大学

〒326-0808 足利市本郷3-2120
TEL.0284(21)12042
<http://www.ashikaga.ac.jp/>

夢を叶える最短コースで
希望の職業へ導く

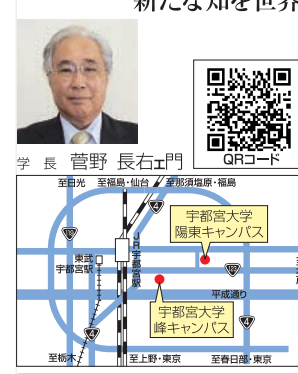


足利短期大学は、大正時代に開設した前身の「足利実践女学校」以来、80年にわたる歴史の中で、つねに時代にマッチした教育を展開してきました。現在は幼児教育科、看護科の二つの学科を設置しており、「高度な知識と人間性豊かな人材を育成する」という建学の理念のもと、高い専門知識と技術だけでなく、豊かな人間性を身につけた人材を育成しています。学生の勉勵と教職員の熱心な指導により、質の高い教育を実践し、卒業生に対して社会からも大きな評価を得ており、毎年ほぼ100%の高い就職率を達成しています。また専攻科福祉専攻では、近年ますますニーズが高まっている介護福祉士の養成も行っています。

宇都宮大学

■東キャンパス 〒321-8505 宇都宮市本郷350
TEL.028(649)6649
■東東キャンパス 〒321-8585 宇都宮市本郷1-7-2
TEL.028(649)6604
<http://www.utsunomiya-u.ac.jp>

豊かな発想を地域に、
新たな知を世界へ

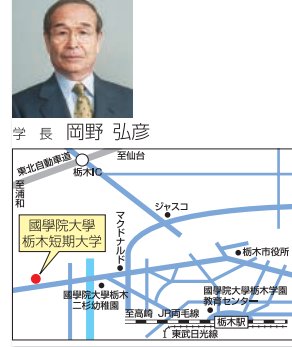


宇都宮大学では「学生の立場に立った教育」を通して、学生の満足度の高い大学の実現を目指しています。実践的学問の進め方をはじめ、セミナーなどで学び、情報や外国語はリテラシーとして身につけ、またキャリア教育を通じて「生き方」「社会とは」「企業とは」という問いに自分なりの解答を模索させることで様々な可能性を考えるきっかけにしています。このことが学問への動機付けにもなっています。社会を知り、深い意味で社会に役立つ教育を意識的に、また、国際舞台で活躍するジャーナリストやNPOを学外から招いて話を聞く「国際キャリア合宿セミナー」を開催するなど、課外活動も積極的に展開し、学生がやる気の出る環境作りに取り組んでいます。

國學院大學 栃木短期大学

〒328-8588 栃木市平井町608
TEL.0282(22)5511
<http://www.kokugakuintochigi.ac.jp/tandai>

日本のこころを学び、
可能性を育てる大学

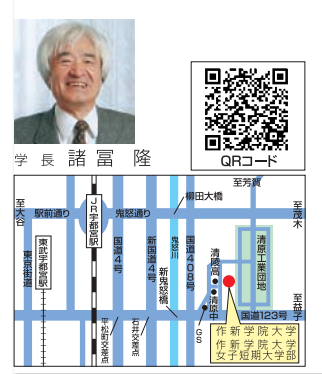


本学には5学科(国・文・家政・初等教育・日本史・商学科)があります。毎年、約30都道府県から入学する学生は男女の枠を超えて将来の活躍のフィールドを広げています。一人ひとりが自信をもって将来をみだしていくためにさまざまな出会いと発見、深く、広く、層の厚い学びを通してあなたの可能性を大きく育てます。「伝説・昔話の探訪」や「旧家の古文書・古墳発掘」などフィールドワークを活かしあがっています。国文学科・日本史学科では地域と深く結びついた「伝説・昔話の探訪」や「旧家の古文書・古墳発掘」などフィールドワークを活かしあがっています。家政学科・初等教育学科では教員免許状を取得して養護教諭、幼稚園・小学校教諭として専門の者が故郷で活躍しています。商学科ではキャリア教育を重視して専門資格取得で鍛えられた人材を輩出しています。

作新学院大学女子短期大学部

〒321-3295 宇都宮市竹下町908番地
TEL.028(667)7111
<http://www.sakushin-u.ac.jp/>

豊かな感性と幅広い知性を
備えた保育者を養成する

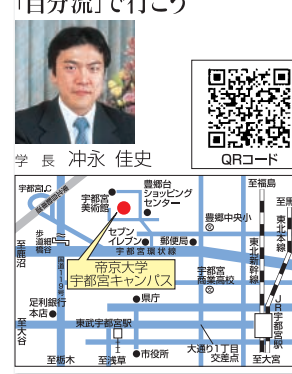


「幼稚園の先生として活躍したい」「子どもの育ちを支える保育士になりたい」…そんな夢の実現を作新学院大学女子短期大学部は力強くサポートします。子どもの発育の尊重や子育て支援など社会的要請にしっかり応える保育者を育成する実践的教育が行われています。①保育者としての幅広い知識・技術・実践を学ぶ教養・専門科目、②保育者の責任感や使命感を身につける実習教育、③さらには表現する力を培う演習科目等が用意されています。本学には同じ目標を共有する学生同士、お互いの個性を認め合い共に学んでいくことができる環境があります。自分に備わる個性や価値を伸ばし、豊かな保育者として能力を開花させてほしいという願いがあるからです。その結果、本学の卒業生は現在、保育や幼児教育を担う第一線の専門職として自覚高い活躍を見せています。

帝京大学

■上野(有明)キャンパス 〒173-8605 東京都葛飾区加賀2-11-1
TEL.03(564)1211
■東上野キャンパス(宇都宮) 〒320-8551 宇都宮市本郷1-1
TEL.028(627)7111
<http://www.teikyo-u.ac.jp/>

「自分流」で行こう



帝京大学は、「自分流」を理念として掲げています。それを変える教育方針に「実学」「国際性」「開放性」があります。「自分流」とは学生は何を得意とするのかの認識を持って自らの責任で、自らの能力を高めていくことです。本学はそれをサポートするために、学生個々の能力を十二分に引き出すことのできる教育システムや環境を提供する努力をしております。若い世代の理料離れが心配されている昨今、本学工学部では、ものづくりを支える世代の育成に力を入れており、特に技術分野では産学連携により教員・企業が主体となって先端技術研究を行ったり、学生主体の研究活動や教育面において、さまざまな連携を行っております。加えて、知識や技術のみならず、地球環境問題への配慮などの課題も視野に入れた教育を行っており、21世紀を支える人材育成に貢献しています。

文星芸術大学

■上野(有明)キャンパス 〒320-0058 宇都宮市上戸敷4-8-15
TEL.028(625)6888
<http://www.bunsei.ac.jp>

宇都宮から新しい芸術の
風を起そう

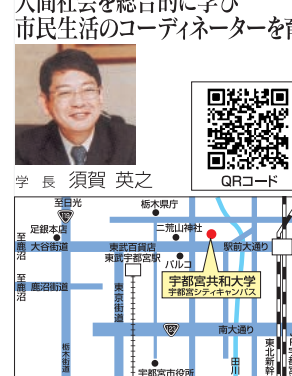


文星芸術大学は、北関東の文化芸術を基盤として最初に設置された芸術の大学です。日光の伝統的な美術工芸、漆の陶芸、足利・結城の染織を現代社会の芸術創造に生かす大学であります。日本画・油画・彫刻の造形芸術の研鑽はもとより、デザイン・マンガ・イラスト・映像をはじめ、染織・陶芸などの機能芸術の研究教育に力を入れています。文星芸術大学は、地域社会との結びつきを大切にしながら、「宇都宮から新しい芸術の風を起そう」を合言葉に、師弟関係、人間関係を重んじた「工房主義教育」を掲げている若い大学です。権威ある公募展に入選、入賞する学生を多数輩出することで、中央でもその存在が認められてきました。他大学と連携することで、さらに感性を磨きあうことを希望します。

宇都宮共和大学

■宇都宮(上野)キャンパス 〒320-0811 宇都宮市大宮1丁目3-18
TEL.028(650)0681
■東上野キャンパス 〒320-0121 前橋市市街地南13-1
TEL.0287(673)111
<http://www.kyowa-u.ac.jp>

人間社会を総合的に学び
市民生活のコーディネーターを育成



宇都宮共和大学シテライフ学部は、「まちかどせみ」などのフィールドワークを通して市民生活の実際を学び、生活・文化・環境・経済・経営・流通など、人間社会の多くの課題に精通した、真に豊かな暮らしをコーディネートできる人材輩出を目指しています。また、「全人教育」の理念のもと、学生ひとりひとりの個性・特性にあったキャリア教育を行い、自己をみつめ自己の確立を目指す「自己発見」大学として、社会に愛され社会に貢献できる「個人」を育成します。さらに、名実共に「社会に開かれた大学」を実践しており、現代文化やまちづくりのシンポジウム、市民公開講座、各種セミナーを定期的に開催して市民との交流を図り、地域社会の向上を目指しています。

宇都宮文星短期大学

■上野キャンパス 〒320-0058 宇都宮市上戸敷4-8-15
TEL.028(625)3737
<http://www.bunsei.ac.jp>

食と芸術文化で郷土を支える



宇都宮文星短期大学は、地域総合文化学科という独自の学科を設置しています。文部科学省が拡大の方向として提唱した「地域と結びついた、アメリカのコミュニティ・カレッジの日本版の実現」に応じた新しい大学です。特徴としては、地域の情勢的・産業的な動向に対する教育と、文化的・歴史的・芸術的な教育を柱としていることで、地域文化・情報実務に精通する人材の育成と、芸術文化・食文化に携わる人材の育成を目指しております。北関東は、東京のヒンタラント(後背地)としての発展が望まれ、確実にその道を進んでいます。大学間連携の深まりの中で、日本の大学に「職業」の視点が広がっていくことを期待します。

国際医療福祉大学

〒324-8501 栃木県大田原市北金沢2600-1
TEL.0287(24)3000
<http://www.uhw.ac.jp/>

チーム医療に貢献できる
医療福祉の専門職を養成

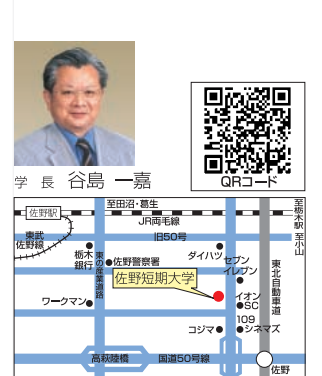


国際医療福祉大学は、医療と福祉の総合大学として、病状や障害を持つ人も健康な人も、お互いを認めあつて暮らせる「共に生きる社会」の実現を建学の理念に掲げています。本学の教育で目指していることの一つは、臨床教育です。そのために、大学構内及び周辺地域に医療福祉施設を整備し、実習教育の前段階から障害者や病者と直接接し、将来の医療福祉専門職としての自覚を持たせること、患者様との人間関係を体験させることを心掛けております。学生にとっては、将来の医療福祉へのより明確な動機づけとなることにも、「共に生きる社会」を実現できるのです。本学の基礎教育及び臨床教育によって、疾病の治療を目的とする医療施設から生活支援を目的とする福祉施設までの両側の流れ、子どもから高齢者までの疾病・障害とライフサイクルの変化、医療・福祉サービスを支える多くの専門職等との連携などが理解できます。また、国際活動も盛んです。国際協力機構(JICA)のプロジェクトに選んで中国やフィリピンに派遣された時、毎年春学期中に海外4か国に学生を派遣し、現地の医療福祉施設を視察し、実際にボランティア活動を通して現地の医療スタッフと交流を図りつつ、幅広い視野を開くことができます。

佐野短期大学

〒327-0821 佐野市高萩町973
TEL.0283(21)1200
<http://www.sano-c.ac.jp/>

自分の頭で考える教育の実践

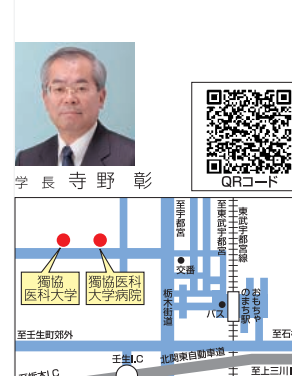


本学は国際化・情報化・少子高齢化に対応した英米建学科、経営情報科、社会福祉学科(社会福祉専攻・介護福祉専攻・児童福祉専攻・栄養福祉専攻)で構成されており、特色ある大学を目指し「想う・考える・人・行つたを創る」の教育目標に沿って、「自分の頭で考える学生」を育て、社会の要請に応えています。本学の代表的な取り組みとして現在進行中ですが、教育に関する教員の能力開発を目指すファカルティ・ディベロップメント(FD)を強力に推進しています。教職員の協働により、委員会を組織して、教育内容・方法の改善や将来構想を策定し、具体的には教職員の授業観や学生による授業評価、教員の研修会などを通じてFDの実績を積み上げていきます。

獨協医科大学

〒321-0293 下野市壬生町北4-880
TEL.0282-66-1111
<http://www.dokkyomed.ac.jp>

信頼される医師の育成

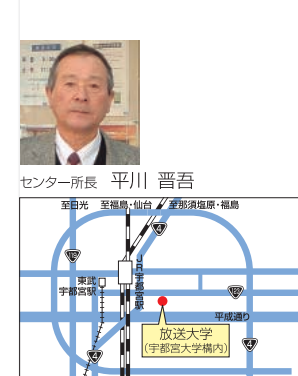


本学は、平成17年4月で創立32周年を迎えました。1973年の開学以来、建学の精神に則り、広く国民から信頼される医師を育成することを本学の基本理念とし、今までに約2,800名あまりの医師及び970名以上の医学博士を輩出しています。附属施設として、特定機能病院である大田原市立総合病院(開院後約1,900床)があり、また平成18年4月には栃木県をはじめ地区市町村並びに関係団体からの要請を受け、日光医療センター(現群馬労災病院)を開院予定であり、今後も更に地域社会から信頼される中核医療機関としての役割を充分認識し、その責任を果たしていきたいと考えています。また、現在ある附属看護専門学校を発展させ、平成19年4月には看護看護学部を開校し、県下初の看護・ヘルパル向上を志向したいと考えております。研究面においては、先端医学を研究する医学総合研究所や研究の基盤を提供する実験動物センターの充実を遂げ、今まで以上に基礎研究における研究成果を社会へ還元し、大学の重要な使命である社会貢献を果たしたいと考えています。

放送大学 栃木学習センター

〒321-0943 宇都宮市本郷350(宇都宮大学構内)
TEL.028(632)0572
<http://www.u-air.ac.jp/>

学ふよろこびを放送大学で!



放送大学はどなたでも入学でき、家に居ながら勉強できる新しい教育システムです。全国に学習センターが設置されていますが、栃木学習センターは、平成14年度から宇都宮大学附属図書館との合築で新校舎が完成しました。新校舎は図書館の南側に位置し、1階の図書・視聴覚学習室を中心に、小講義室、実験室等それぞれが機能的に配置されており、加えて50インチプラズマディスプレイ等最新の設備を備えています。栃木学習センターでは、皆さまが修学しやすいよう各専攻分野に対応する9名の教員教員を配置して、木目の細かい学習相談に応じています。卒業単位として必要な履修は、各学期に約24科目程度開講しますが、講師は県内の大学の教員が中心に、地域問題などの身近な課題も取り上げております。